

I 類 B

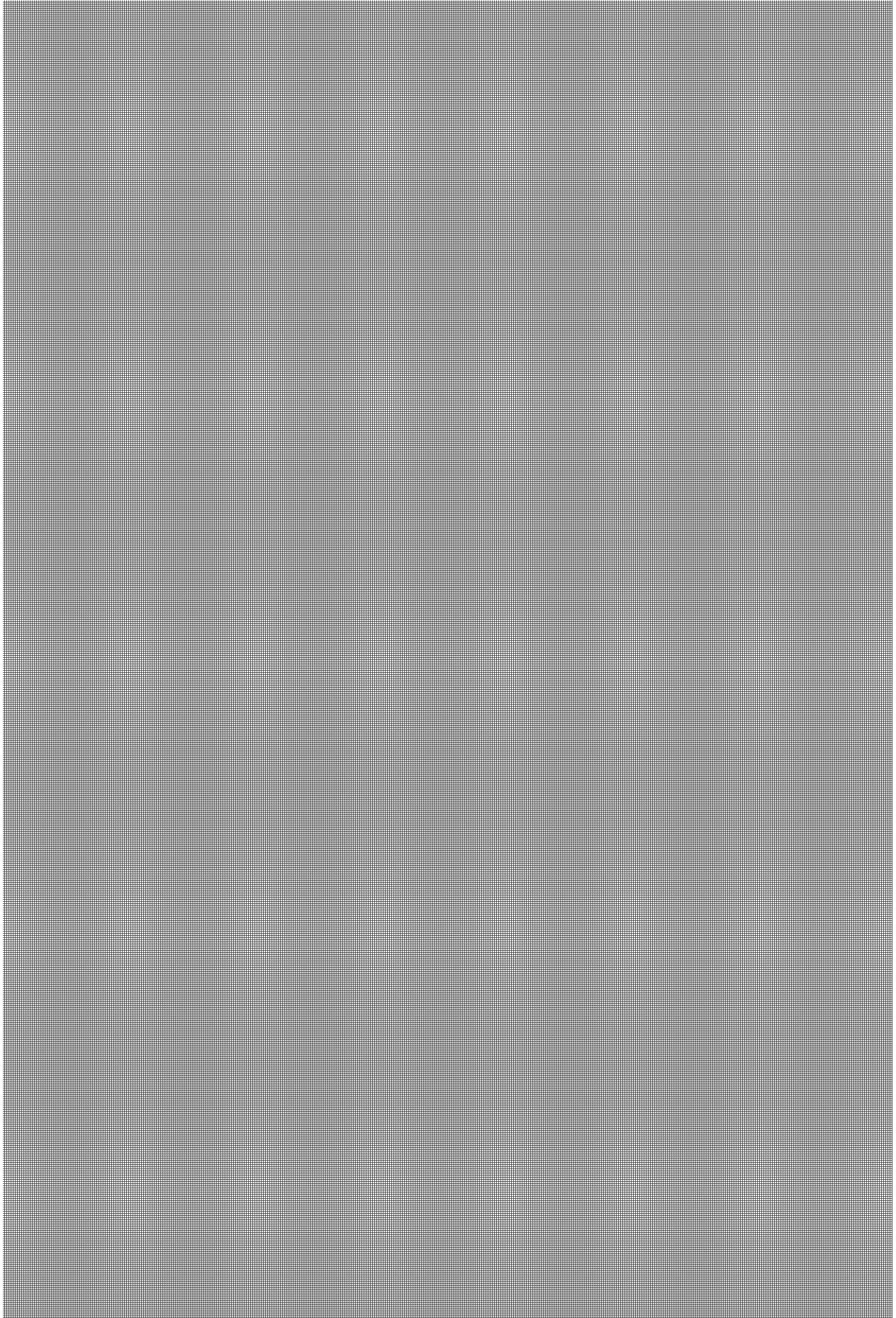
専 門 問 題

令和 6 年 9 月 施 行 職 員 採 用 （ 保 健 師 ）

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は全部で **15 題**あり、ページ数は **16 ページ**、試験時間は **1 時間 30 分**です。
- 2 択一問題については、選択肢（1～4）の中から正答を一つ選び、その番号を解答用紙【択一】に記入してください。
- 3 記述問題については、解答を解答用紙【記述】（**A**～**C**）に記入してください。
- 4 この問題用紙は、持ち帰ることができます。



公衆衛生看護に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 公衆衛生看護の機能は、移行に伴う継続性の担保、人びとの暮らしを支える地域づくり、関係機関連携の3つのみである。
- B 公衆衛生看護とは、時代とともに変化する地域社会とその健康課題を把握し、問題解決のために実践する保健・医療・福祉活動を指す。
- C 公衆衛生看護活動は公衆衛生を基盤にした看護活動であり、地域住民の主体性と行政のリーダーシップが最も重要である。
- D 公衆衛生看護活動のコアとなる役割として、活動の結果は必ず評価し、活動の向上を目指すとともに、活動結果を施策へつなげることが挙げられる。

- 1 AとB 2 AとC 3 BとC 4 BとD

家庭訪問に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 家庭訪問は対象者からの要請や同意に基づいて行うが、感染症法^{※1}及び精神保健福祉法^{※2}では要請や同意がなくても訪問できることが明記されている。
- 2 家庭訪問は事前に立案した訪問計画を基に進めるが、訪問して初めて得られる情報もあるため訪問計画は修正しながら支援を行う。
- 3 家庭訪問を実施し、関係機関との連携や社会資源の調整が必要な場合は、対象者の利益につながる事なので対象者の意向確認は必要としない。
- 4 家庭訪問記録は開示請求の可能性も踏まえ、要点を整理した分かりやすい記載が必要であるが、対象者の発言はすべて記載しておく必要がある。

※1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」

※2 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」

地域アセスメントに活用できるモデルに関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A コミュニティ-アズ-パートナーモデルは、地域集団を1つの単位として、そこで生じる健康問題をアセスメントし、対策を立て、実践・評価するプロセスのモデルである。
- B PDCAサイクルは、計画、実施、点検・評価、調整・改善の4つのプロセスを用いて、活動の継続的な改善を図るものである。
- C プリシード-プロシードモデルとは、地域全体を包括的に診断していくプロシード部分と、実施から評価へ進めていくプリシード部分からなる。
- D ヘルスビリーフモデルは、ベッカーらによって提唱され発展した客観的な保健行動を説明する古典的な保健行動の理論モデルである。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとD

4

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に関する記述について、空欄に当てはまる語句として正しい組み合わせを選びなさい。

平成 29 年 2 月の「これからの精神保健医療福祉の在り方に関する検討会」報告書において、精神障害の にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・ , 住まい、社会参加（就労）、地域助け合い、 が包括的に確保されたシステムの構築を目指すことを新たな理念として明確にした。

- | | | | |
|---|---------|------|------|
| 1 | ア 有無や程度 | イ 介護 | ウ 教育 |
| 2 | ア 程度や診断 | イ 保護 | ウ 教育 |
| 3 | ア 有無や程度 | イ 保護 | ウ 療育 |
| 4 | ア 程度や診断 | イ 介護 | ウ 療育 |

障害者総合支援法^{※1}による障害者福祉サービス（介護給付）に関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 行動援護とは、視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供や移動の援護等の外出支援を行うことである。
- 2 同行援護とは、自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行うことである。
- 3 生活介護とは、常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供することである。
- 4 療養介護とは、常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排泄、食事の介護とともに外出時における移動支援等を行うことである。

※1 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」

難病保健活動の根拠となる難病特別対策推進事業に関する記述として、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 難病相談支援センター事業では、難病患者就職サポーターと連携を図り、難病患者の就労に必要な相談・支援、情報提供を行っている。
- B 在宅療養支援計画策定・評価事業では、きめ細やかな支援を行うため、対象患者ごとに支援計画を作成し、適宜、計画の評価を行っている。
- C 在宅難病患者一時入院等事業のうち在宅レスパイト事業では、在宅難病患者の一時入院が困難な場合に、患者宅へ看護人の派遣を行っている。
- D 難病対策地域協議会は、全ての市町村に設置が必須であり、難病患者への支援体制に関する課題の共有と体制整備について協議を行っている。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 AとD

梅毒に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 梅毒は、梅毒トレポネーマによるウイルス性の感染症で、主に性的接触で感染し、病期によって症状の出現する場所が異なる。
- B 妊婦の梅毒感染は、出生児の神経等に異常をきたすことがあり、生まれた際に無症状でも、遅れて症状が出ることもある。
- C 梅毒は、性器や口の中に小豆から指先くらいのしこりや痛みの少ないただれができるが、症状が消失すると感染力はなくなる。
- D 梅毒は全数把握の対象疾患であり、令和4年の報告数は13,221人で、平成22年と比べ約20倍となっている。

- 1 AとB 2 BとC 3 CとD 4 BとD

地域保健と学校保健との連携に関する記述について、空欄に当てはまる語句として正しい組み合わせを選びなさい。

地域保健の主たる機関である保健所や は、公衆衛生の責任を負う機関として、また各種の公衆衛生技術をもつ機関として、学校保健と連携していかなければならない。

たとえば、学校の設置者は、児童生徒等の健康診断や のための出席停止、臨時休業を行う際には保健所の関連部署に連絡して、学校と保健所が協働で対応することになる。

地域保健に従事する保健師は、 からの健康の保持増進を図るため、学校保健関係者等と連携して、地域全体の QOL の向上を図る方策を創意工夫することが望まれる。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------|---|------|
| 1 | ア | 市町村 | イ | 感染症予防 | ウ | 乳幼児期 |
| 2 | ア | 医師会 | イ | 食中毒予防 | ウ | 乳幼児期 |
| 3 | ア | 医師会 | イ | 感染症予防 | ウ | 学童期 |
| 4 | ア | 市町村 | イ | 食中毒予防 | ウ | 学童期 |

健康危機管理におけるリスクコミュニケーションに関する記述について、正しいものを選びなさい。

- 1 リスクコミュニケーションの重要性について、阪神・淡路大震災の経験を踏まえまとめられた「地域保健対策検討会報告書」の中で言及されている。
- 2 リスクコミュニケーションとは、リスク評価やリスクへの対応の過程で、行政と専門家のみでリスクに関する情報、意見を交換することである。
- 3 リスクコミュニケーションの目的として、リスクにかかわる問題・行為について相互の理解を深めることや、信頼のレベルの向上等が挙げられる。
- 4 リスクコミュニケーションを理解し、住民自身が最適な意思決定を行えるよう、保健師が主導して対策を講じていくことが重要である。

保健師が自ら進んで資質向上に努めるよう課している法律として、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 地方公務員法 B 保健師助産師看護師法
C 地域保健法 D 看護師等の人材確保の促進に関する法律

- 1 AとC 2 AとD 3 BとC 4 BとD

疫学調査の精度を担保するための交絡因子の制御方法に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A マッチング：同じ特性をもったカテゴリーに分けた分析
- B ランダム化：対象者を無作為に暴露群と非暴露群に割り付ける
- C 限定：観察対象者をある特定の特徴を持った集団に制限する
- D 層化：暴露群と非暴露群の交絡因子の分布が等しくなるような対象者の選定

1 AとB

2 BとC

3 CとD

4 AとD

自治体における統括保健師に関する記述について、正しい組み合わせを選びなさい。

- A 2013（平成 25）年の厚生労働省局長通知により、都道府県及び市町村に統括的な役割を担う保健師（統括保健師）の配置が示された。
- B 2023（令和 5）年の調査では、都道府県、保健所設置市、特別区、市町村における統括保健師の配置率は約 90%である。
- C 新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受け、保健所に統括保健師等の総合的なマネジメントを担う保健師の配置が求められている。
- D 統括保健師には、人材育成の推進と健康危機管理体制を充実する役割があるが、部署横断的な保健活動の総合調整の役割は求められていない。

- 1 AとC 2 AとD 3 BとC 4 BとD

地域保健活動を行う上で重要な、メンタルヘルスの視点から見た「予防」の概要について、A～Cの空欄及びア～エの空欄を埋めなさい。

「予防」の分類の説明		具体的な予防活動例
1次予防	A	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスや精神疾患に関する普及啓発 ア
2次予防	B	<ul style="list-style-type: none"> 精神医療へのアクセスの確保 イ
3次予防	C	<ul style="list-style-type: none"> ウ エ

解答は、解答用紙 A に記入すること。

新型コロナウイルス感染症に関する保健所への相談事例を読んで、次の設問に答えなさい。

<相談事例>

「夫が今日、新型コロナウイルス感染症と診断された。家庭内での感染防止策をどうしたらいいか教えてほしい。幼い子供もいて、喘息の既往がある。夫から子供へ感染するのではと不安で仕方ない。どうしたらいいか」と保健所へ妻から電話相談が入った。

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染経路を3つ答えなさい。

①	
②	
③	

- 2 相談者（妻）への助言指導の内容として適切なものを4つ答えなさい。

①	
②	
③	
④	

解答は、解答用紙

B

 に記入すること。

健康危機管理における保健所と保健師活動について、次の設問に答えなさい。

- 1 地域保健対策検討会中間報告によると、保健所における健康危機への対応分野は12分野である。空欄の3分野を記入しなさい。

1	原因不明健康危機	7	食品安全
2	<input type="text" value="①"/>	8	飲料水安全
3	<input type="text" value="②"/>	9	<input type="text" value="③"/>
4	災害有事・重大健康危機	10	介護等安全
5	医薬品医療機器等安全	11	児童虐待
6	医療安全	12	生活環境安全

- 2 健康危機管理における保健師活動は、平常時、発生時、回復期のそれぞれに対策を講じる必要がある。平常時と発生時における保健師活動について、箇条書きでそれぞれ2つ挙げなさい。

段階	保健師活動
1 平常時	例) 住民への地域啓発や広報活動などの予防教育 ・ <input type="text" value="①"/> ・ <input type="text" value="②"/>
2 発生時	例) 個人情報の保護に努め、人権擁護への配慮 ・ <input type="text" value="③"/> ・ <input type="text" value="④"/>
3 回復期	・ PTSD への配慮など心のケア ・ 相談窓口の設置や人的物的資源の調整等、被害からの回復支援 ・ 経緯をまとめ、整理・蓄積し、新たな危機対応へ反映

解答は、解答用紙 に記入すること。

【 メ モ 】

